

宿泊約款

第 1 条（適用範囲）

1. 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとし、ます。
2. 当ホテルが法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとし、ます。

第 2 条（宿泊契約の申し込み）

1. 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（宿泊税を含む）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が宿泊中に前項第 2 号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理し、ます。

第 3 条（宿泊契約の成立等）

1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したとき、または承諾の旨をインターネットの当ホテルの予約受付用サイト URL（以下、当サイトといひます）に表示したとき、または、その旨の電子メールがお客様の指定するメールアドレスを管理するサーバーに到着したときに成立するものとし、ます。
2. 申込金は宿泊客が、最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第 6 条及び第 17 条の規定を適用する事象が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば第 12 条の規定による料金の支払いの際に返還し、ます。
3. 第 2 項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとし、ます。但し、申込金の支払期日を指定するに当り、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。
4. 当ホテルが当サイトに誤った宿泊料金を提示し、当該宿泊料金に基づき宿泊契約の申し込みをされ、当ホテルが承諾した場合は、当該料金とその前後の期日の宿泊料金に比べて著しく低廉であるときは、当該料金につき「限定」、「特別」、「キャンペーン」等の低廉である理由の表示のない限りは、民法上の錯誤による承諾であることから、宿泊契約は無効とさせていただきます、速やかにその旨の通知を差し上げ、ます。

第 4 条（申込金の支払いを要しない特約）

1. 前条第 2 項の想定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当り、当ホテルが前条第 2 項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

第 5 条（宿泊契約締結の拒否）

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公共の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第 2 条第 6 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ) 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をした場合。
- (6) 宿泊しようとする者が、当ホテルもしくはその従業員に対し暴力的要求行為を行い、または合理的範囲を超える負担を要求した場合。
- (7) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (8) 天災、施設の故障、その他やむをえない事由により宿泊させることができないとき。
- (9) 各都道府県条例で特に定める事由があるとき。

第 6 条（宿泊客の契約解除権）

1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第 3 条第 2 項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、当該宿泊契約申し込み時に当ホテルが提示したキャンセル規程に従い、違約金を申し受けます。但し、当ホテルが第 4 条第 1 項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊当日の午後 10 時（あらかじめ、到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を 30 分経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

第 7 条（当ホテルの契約解除権）

1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

(1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公共の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき、または同行為をしたと認められるとき。

(2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。

イ) 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力

ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき

ハ) 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの

(3) 他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をした場合。

(4) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。

(5) 当ホテルもしくはその従業員に対し、暴力的要求行為を行い、または合理的範囲を超える負担を要求した場合。

(6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。

(7) 客室での喫煙、消防用設備に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る）に従わないとき。

2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。但し、前項第 6 号以外の事由による場合には、いまだ提供を受けていない宿泊等のサービス等の料金相当額の違約金を申し受けます。この場合、第 17 条に基づく請求を妨げられるものではありません。

第 8 条（宿泊の登録）

1. 宿泊客は、宿泊当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

(1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業

(2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日

(3) 出発日及び出発予定時刻

(4) その他、当ホテルが必要と認める事項

2. 宿泊客が第 12 条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、予め前項の登録時にそれらを提示していただきます。

第 9 条（客室の使用時間）

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後 3 時から翌朝 11 時までとします。但し、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2. 当ホテルは、前項の規定に関わらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

(1) 超過 1 時間につき 1 名 1,500 円

(2) 前号に関し、延長は午後 2 時までを限度とします。

第 10 条（利用規則の遵守）

宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第 11 条（営業時間）

1. 当ホテルの主な施設等の営業時間は、次の通りとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示、客室内のインフォメーションブック等でご案内いたします。

（1）フロント、キャッシャー等サービス時間：施設内の掲示に定める

（2）飲食（施設）サービス時間：施設内の掲示に定める

（3）附帯サービス施設時間：施設内の掲示に定める

2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には適当な方法をもってお知らせします。

第 12 条（料金の支払い）

1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、当ホテルと宿泊客が個別に合意した料金によるものとします。

2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。

3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第 13 条（当ホテルの責任）

1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に生じた損害を賠償します。但し、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものではないときは、この限りではありません。

2. 当ホテルは、万一の火災に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しています。

第 14 条（契約客室の提供ができないときの取り扱い）

1. 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。但し、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

第 15 条（寄託物等の取扱い）

1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。但し、現金及び貴重

品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは宿泊客個人賠償責任保険を限度としてその損害を賠償します。

2. 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。但し、宿泊客から予め種類及び価額の明告のなかったものについては、宿泊客個人賠償責任保険を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

第 16 条（宿泊客手荷物又は携帯品保管）

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡しします。

2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは原則として、当該所有者に連絡をするとともに、当社所定の管理手順に従い処理することとします。但し、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め一か月間保管し、その後最寄りの警察署に届けるか、若しくは当社所定の管理手順に従い処理することとします。また飲食物の場合は当社所定の管理手順に従い、当日に処理いたします。

3. 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管について、当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあつては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあつては同条第 2 項の規定に準ずるものとします。

第 17 条（宿泊客の責任）

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

[ホテル運営会社]

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂二丁目 1 番 20 号

株式会社ティ・ワイ・エッチ

代表取締役 鈴木 洋子

Terms & Conditions for Accommodation Contracts

Article 1 - Scope of Application

1. The Accommodation Contract and related contracts to be concluded between our Hotel and the Guest shall be based on this Contract under the following terms and conditions of our Contract.

Any matter not stipulated in this Contract shall be governed by ordinance and generally established practice.

2. When our hotel has agreed to conclude a Special Contract without conflicting with ordinance and established practice, the said Special Contract shall prevail.

Article 2 - Application for an Accommodation Contract

1. The Guest who intends to apply to our Hotel for an Accommodation Contract will be required to provide our hotel with the following particulars:

- (1) Name(s) of Guest(s) to be registered.
- (2) Date(s) scheduled for overnight stay and estimated time of arrival.
- (3) Accommodation charge (including but not limited to the Tokyo Accommodation Tax)
- (4) Other information considered necessary by our hotel.

2. In the case that the Guest has requested, during his/her stay, an extension of an overnight stay beyond the date described in the preceding Paragraph (2) above, our Hotel shall handle his/her request as a new application for an Accommodation Contract which has been made at the point in time when the said request has been made.

Article 3 - Conclusion, etc. of the Accommodation Contract

1. The Accommodation Contract shall be considered to have been concluded at the time when our hotel has accepted the application described in the preceding Article, or when our Hotel has indicated assent by showing our acceptance that on our hotel's website, or when the Guest's e-mail server has received our e-mail about our acceptance.

2. The Application Money shall first be applied to the final payment of the Accommodation Charge payable, and when the circumstances requiring application of the provisions of Article 6 and Article 17 have arisen, to penalty and then to compensation money in this order. If there is any balance left it will be repaid at the time when the Accommodation Charge is paid as provided in Article 12.

3. In the case that the Application Money described in Paragraph 2 of this Article has not been paid by the date set by us as stipulated in the same Paragraph, the Accommodation Contract shall become invalid, but limited only to the case where our Hotel has notified the Guest to that effect at the time when prescribing the day due for payment of the Application Money.

4. In the case that our hotel shows the incorrect Accommodation Charge on our hotel's website

and the Guest applies to our hotel with that price on that website and that our hotel accepts such application, our hotel shall notify him/her of invalidity on the basis of a miscomprehension under the Japanese Civil Law without delay, to the extent that price is particularly cheaper than that of the preceding/following date and unless otherwise showing the reason of cheap price such as "LIMIT", "SPECIAL", "CAMPAIGN", etc.

Article 4 - Special Contract Requiring Non-Payment of the Application Money

1. Notwithstanding the provision of the preceding Article, Paragraph 2, there are cases where our hotel accepts a Special Contract which does not require payment of the Application Money specified in the said Paragraph after the conclusion of the Contract.
2. When accepting an application for an Accommodation Contract, in the case that our hotel fails to request payment of the Application Money specified in the preceding Article, Paragraph 2, and/or in the case that it fails to prescribe the due date for payment of the said Application Money, the Special Contract described in the preceding Paragraph shall be considered to have been accepted.

Article 5 - Refusal of the Conclusion of the Accommodation Contract

The following are cases where our hotel will not accept the conclusion of the Accommodation Contract.

- (1) When application for accommodation is not based on this Contract.
- (2) When there is no room available due to full occupancy.
- (3) When the Guest seeking accommodation is considered likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals.
- (4) When the Guest seeking accommodation is considered to be corresponding to the following
 - (a) to (c).
 - (a) The law in respect to prevention, etc. against illegal actions by gang members (1991 Law item 77) stipulated article 2 item 2 (hereinafter referred to as "gang group."), gang member stipulated by the same law article 2 item 6 (hereinafter referred to as "gang member."), gang group semi-regular members or gang member related persons and other antisocial forces.
 - (b) When gang group or gang members are associates of corporations or other bodies to control business activities.
 - (c) When a corporate body has related persons to gang members.
- (5) When the guest seeking accommodation behaves extremely in a mischievous way against other hotel guests.
- (6) When the guest seeking accommodation, a violent requesting act is carried out, or

demanded a burden beyond the reasonable purview against our Hotel or our Hotel's staff.

(7) When the Guest seeking accommodation is clearly considered to be a patient with an infectious disease.

(8) When act of God, trouble with facilities, and other unavoidable causes prevent the Guest from staying at our hotel.

(9) When the provision of the Ordinance issued by Prefecture is applicable.

Article 6 - The Guest's Right to Cancel the Contract

1. The Guest may request our hotel to cancel the Accommodation Contract.

2. In the case that the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes attributable to him/her (which is the case when our Hotel has requested payment of the Application Money by prescribing the date due for such payment under the provision of Article 3, Paragraph 2, except in the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract prior to such payment), payment of penalty shall be required as specified our cancel policy, but in the case that our Hotel has accepted a Special contract described in Article 4, Paragraph 1 this provision shall be applied only to the case where our Hotel has notified the Guest of his/her responsibility to pay a penalty for cancellation of the Contract when accepting the Special Contract.

3. In the case that the Guest does not arrive by 10 p.m. on the day of an overnight stay without informing our hotel of a delay (or after the lapse of 30 minutes past the scheduled time of arrival if indicated by the Guest beforehand), the Accommodation Contract concerned may be considered to have been cancelled by the Guest and will be handled accordingly.

Article 7 - The Right of Our Hotel to Cancel the Contract

1. The following are cases where our hotel may cancel the Accommodation Contract:

(1) When the Guest is considered likely to behave in violation of the provisions of the ordinance, public order or good public morals, or he/she is considered to have behaved in such a manner.

(2) When the Guest is clearly considered to be corresponding to the following (a) to (c).

(a) Gang group, gang group semi-regular members or gang members related persons and other antisocial forces.

(b) When a corporate body or other organization where gang groups or gang members control business activities.

(c) In a corporate body which has persons relevant to gang member in its board member.

(3) When the Guest in accommodation behaves extremely in a mischievous way against other hotel guests.

(4) When the Guest is clearly considered to be a patient with an infectious disease.

(5) When having accommodation, a violent action is carried out, or demanded a burden beyond

reasonable purview.

(6) When unavoidable causes, such as act of God, etc., prevent the Guest from staying at our hotel.

(7) When the Guest smokes in room or vandalizes fire protection facilities, or does not comply with the matters prohibited by our hotel (limited only to those matters necessary for fire prevention) among the rules of use prescribed by our Hotel.

2. In cases where our hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the provision of the preceding Paragraph, charges for accommodation service, etc. which have not yet been offered to the Guest shall not be receivable.; provided, however, that in the reason of the preceding Paragraph, every Items except Item 6, our hotel shall receive the Penalty for cancel the Contract; which is equivalent charges for accommodation service, etc. which have not yet been offered to the Guest shall not be receivable. In this case, this provision shall not prevent any claims for damages of the provisions of Article 17.

Article 8 - Registration of Accommodation

1. The Guest will be required to register the following particulars at the front desk of our hotel:

- (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest.
- (2) Nationality, passport number, place entered and date entered, in the case of a foreign guest.
- (3) Scheduled date and time of departure.
- (4) Other particulars considered necessary by our hotel.

2. In the case that the Guest intends to pay the charges described in Article 12 by using such means in place of currency as accommodation coupons, credit card, etc., he/she will be required to show them at the time of registration described in the preceding Paragraph.

Article 9 - Time Allowed for Use of the Guest room

1. The time allowed for the Guest to use the guest room of our hotel shall be from 3 p.m. till 11 a.m. of the following morning, except when the Guest stays for more than one night in succession, in which case the Guest may use the guest room all day except the day of arrival and the day of departure.

2. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, there are cases where our hotel may accept the use of the guest room in hours other than those specified in the preceding Paragraph, in which case an additional charge will be required as specified below, provided, however, that the additional use shall be till 2 p.m.

Excess of the prescribed hour	For 1 person
Per 1 hour/ room	1,500yen (JPY)

Article 10 - Compliance of the Rules of Use of the hotel

While staying in our hotel, the Guest will be required to comply with the Rules of Use posted inside our hotel as prescribed by us.

Article 11 - Business Hours

1. The business hours of principal facilities in our Hotel shall be as follows. Details of the service hours of other facilities are explained in brochures provided, displays at major points inside our hotel, and guest service directory provided in each guest room.

(1) Service Hours of Front Desk, Cashier, etc.: Explained in the displays at major points inside our hotel

(a) Curfew

(b) Front Desk

(2) Drinking and Eating (Facilities) Service Hours: Explained in the displays at major points inside our hotel

(a) Breakfast

(b) Other Drinking and Eating Services, etc.

(3) Service Hours of Ancillary Facilities: Explained in the displays at major points inside our hotel

2. The service hours described in the preceding Paragraph may be changed temporarily for unavoidable reasons, in which case the Guest will be notified by proper means.

Article 12 - Payment of Charges

1. The breakdown of the accommodation charge, etc. payable by the Guest shall be as agreed between the Guest and our Hotel individually.

2. Payment of the accommodation charges, etc. described in the preceding Paragraph shall be made in currency or by other alternative means acceptable by our hotel such as accommodation coupon, credit card, etc., at the front desk at the time when the Guest arrives at our hotel or is charged by our hotel.

3. In the case that the Guest has not stayed at our hotel at his/her discretion even after we have offered the guest room to the Guest and made it available for him/her to use, the accommodation charge will still be charged.

Article 13 - Responsibility of Our Hotel

1. In the case that we have inflicted damage on the Guest in the course of fulfilling the Accommodation Contract and related Contracts or in breach of these Contracts, we shall compensate for the said damage, unless the said damage has been caused due to a cause not

attributable to us.

2. Our hotel is covered by the Hotel liability insurance to cope with emergencies in the case of fire, etc.

Article 14 - Handling in Case the Guest Room Contracted Is Not Available

1. Should the guest room contracted for the Guest under the Accommodation Contract become unavailable for him/her, our Hotel shall try to offer other accommodation facilities under the equal conditions as the original Accommodation Contract as far as possible, subject to the consent of the Guest concerned.

2. Notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, in cases where we are unable to offer other accommodation facilities to the Guest, we shall pay to him/her a compensation charge equivalent to the penalty, which will be applied to the amount of the compensable damage. However, in cases where there is no cause attributable to us for not being able to offer the guest room, we shall not pay the compensation charge.

Article 15 - Handling of Checked Articles, etc.

1. When the articles, cash and/or valuables checked by the Guest at the front desk have been lost or damaged, our hotel shall compensate for the damage, unless the loss or damage has been caused by force de majeure. However, in the case of cash and valuables, we shall do so only when the Guest has clearly reported the kind and value of such cash and valuables at our request. Otherwise we shall compensate for the damage up to the maximum.

2. When the Guest has brought into our hotel articles, cash and/or valuables but has not checked them at the front desk, we shall compensate for the loss or damage inflicted on them if caused intentionally or negligently on our part, except when the Guest has not clearly reported to us beforehand the kind and value of such items lost or damaged, in which case we shall compensate for the loss or damage up to the maximum unless we are intentionally or negligently responsible for such loss or damage.

Article 16 - Custody of the Baggage or Personal Belongings of the Guest

1. When the baggage of the Guest has arrived at our hotel prior to his/her arrival, our hotel will keep it subject to our agreement given prior to its arrival, and will hand it to the Guest at the time when he/she checks in at the front desk.

2. In the case that the baggage or personal belongings of the Guest are found misplaced after he/she has checked out, in principle our hotel shall notify the owner of such items, and shall handle it in accordance with our prescribed care procedure when the owner has been identified. However, when there are no instructions from the owner or the owner has not been identified,

our hotel shall keep them for one month including the day when they have been found, and shall deliver them to a police station near our hotel or shall handle it in accordance with our prescribed care procedure after a lapse of 60 days. Notwithstanding the above, our hotel shall handle it in accordance with our prescribed care procedure on the day, in case that is food and drink.

3. The responsibility of our hotel regarding the custody of the Guest's baggage or personal belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall conform to the provision of the preceding Article, Paragraph 1, in the case of Paragraph 1 of this Article and to the provision of the Preceding Article, Paragraph 2, in the case of the preceding Paragraph. 16-2.

Article 17 - Responsibility of the Guest

In the case that our hotel has suffered damage due to the intention or fault of the Guest, the Guest will be required to compensate to our hotel for the said damage.

[Hotel Operating Company]

2-1-20 Takasago, Urawa-ku Saitama 330-0063, Japan

TYH CORPORATION

President Yoko Suzuki